

◆ 事務所事業概要

新名神高速道路は名神高速道路と交通機能を適切に分担することで、名神の混雑を解消し、高速道路ネットワークに求められる「高速性」「快適性」「安全性」「定時性」「信頼性」などの機能を高めるとともに、我が国の産業・文化・社会経済活動の振興に寄与することを目指しています。
NEXCO西日本新名神大津事務所では、新名神高速道路(大津JCT(仮称)～城陽JCT・IC間)建設の滋賀県域:12.2km及び甲賀土山IC～大津JCT(仮称)間の6車線化事業(28.5km)を担当しています。

3 名神リニューアル工事実施時における円滑な交通の確保

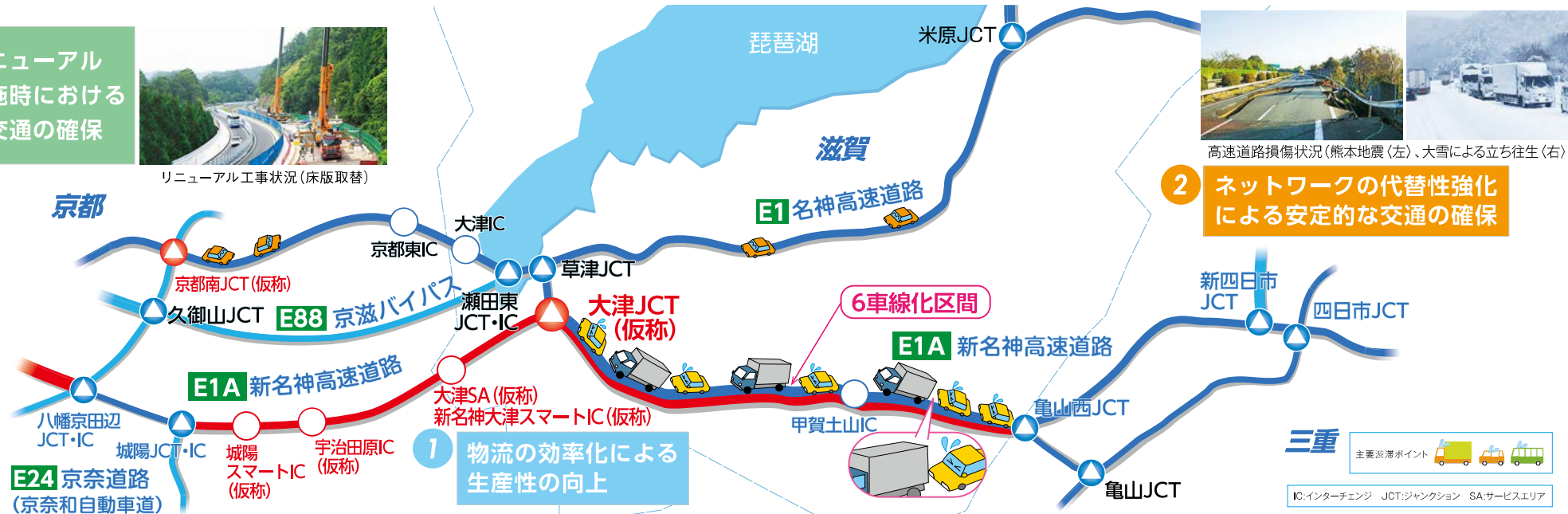


リニューアル工事状況(床版取替)



高速道路損傷状況(熊本地震(左)、大雪による立ち往生(右))

2 ネットワークの代替性強化による安定的な交通の確保



1 物流の効率化による生産性の向上

三重 主要渋滞ポイント

IC:インターチェンジ JCT:ジャンクション SA:サービスエリア

◆ 新名神高速道路(大津JCT(仮称)～城陽JCT・IC間)滋賀県域:12.2kmの進捗状況

新名神(滋賀県域の新設区間)では、用地取得及び埋蔵文化財調査は完了しています。工事は、全ての工事区で着手しています。なお、新名神高速道路(大津JCT(仮称)～城陽JCT・IC間)(八幡京田辺JCT・IC～高槻JCT・IC間)の6車線化が事業化され、合わせて工事を実施しています。

◆ 各地区の進捗状況 (令和4年12月1日現在)

完了 実施中 実施予定

区間	進捗率(%)	大津JCT(仮称)～城陽JCT・IC間(滋賀県域)(12.2km)											
		大津大石工事区(5.8km)			大津田上工事区(3.9km)				大津上田上工事区(2.5km)				
学区名		大石学区(6.4km)			田上学区(3.3km)				上田上学区(2.5km)				
自治会名(km)		小田原町	龍門町	中町	東町	間津	里	枝町	森町	羽葉	新免	中野町	牧町
用地取得のための協議	設計協議	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	幅杭設置	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
用地取得		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
埋蔵文化財調査		—	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
工事着手	本線	100	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
	工事用道路	—	◇	◇	◇	—	◇	◇	◇	—	—	◇	◇

◆ 新名神高速道路における6車線化事業の整備効果

1 物流の効率化による生産性の向上

課題 新名神高速道路は開通以降、大型車の交通量が増加傾向にあります。また、交通の集中に伴う渋滞も増加傾向がみられます。

効果 6車線化によって、低速の大型車と高速の普通車の混在による速度低下や事故リスクを低減し、物流の効率化に寄与することができ、生産性の向上が見込めます。

2 ネットワークの代替性強化による安定的な交通の確保

課題 名神高速道路は降雪・地震などの災害リスクポイントを抱えています。特に、琵琶湖西岸断層帯などの近隣地域では、地震発生時の機能停止が懸念されます。

効果 6車線化により、名神高速道路とのダブルネットワークの安定性が向上します。これによって、降雪や地震等の災害発生時に名神高速道路が通行止めとなった場合においても、新名神高速道路を代替路として利用することができ、安定的な交通を確保することができます。

3 名神リニューアル工事実施時における円滑な交通の確保

課題 名神高速道路は開通から50年以上が経過しており、今後リニューアル工事が本格化していきます。米原JCT～草津JCT間のリニューアル工事においては、主な迂回路が新名神高速道路となります。

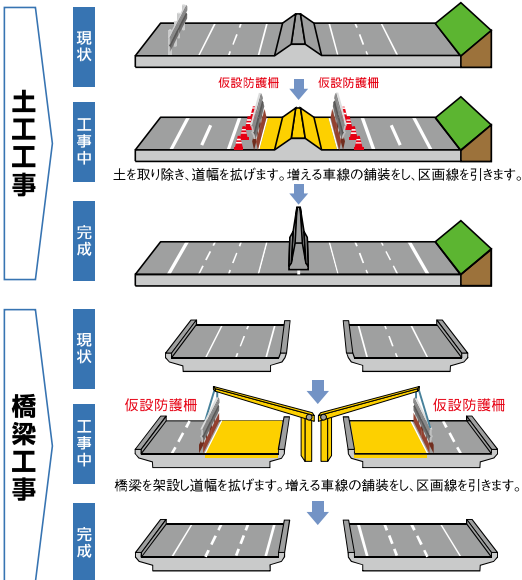
効果 名神高速道路のリニューアル工事実施時に、う回車両により新名神高速道路の交通量が増加した場合でも、6車線化によって渋滞の発生を抑制し、名神高速道路を軸とした円滑な交通を確保できます。

E1A新名神(大津JCT(仮称)～亀山西JCT間)の6車線化工事に伴う車線規制を実施しています。
～車線規制や路肩が狭くなる区間がございますので、注意してご走行ください～

6車線工事の内容

NEXCO西日本新名神大津事務所では、新名神高速道路 甲賀土山IC～大津JCT(仮称)間の6車線化事業を進めています。6車線化に向け、土工工事や橋梁工事、そして舗装工事などを行います。
※仮設防護柵設置時に車線規制を行います。※工事中は路肩が狭くなるので、注意して安全走行をお願いします。

順次6車線に広がります!



令和4年10月14日(金)に、新名神高速道路 大津大石トンネル(下り線)が実貫通し、12月12日(月)に貫通式が執り行われました。日頃より、滋賀県、大津市、近隣住民の皆さま方にご支援いただき、無事貫通いたしましたこと、新名神大津事務所一同、感謝申し上げます。
引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

新名神高速道路 大津大石トンネル(下り線) 実貫通・貫通式


貫通式(令和4年12月12日)



実貫通(令和4年10月14日)



現場からレポート!
トンネル工事では、掘り抜いて反対側に到達することを「貫通」と言います。掘り終えたことのお祝いとして貫通式を執り行います。今回の貫通式では、下り線トンネル総延長917mの貫通報告の後、山腹からの光が差し込むと、関係者の皆さまから自然と拍手や歓声が上がりました。貫通点清めの儀、通り初めの儀、くす玉の開披、鏡開き等を経て、万歳三唱が行われ貫通をお祝いました。
今後は、上り線の3車線断面拡幅作業、コンクリート覆工及び舗装・照明の設置工事など、仕上げ作業が行われます。引き続き新名神高速道路の早期開通に向けて、より一層安全に留意しつつ、工事に取り組んでまいります。



貫通石とは?

トンネルの貫通点付近で、採取できる石は「貫通石」と呼ばれています。神功皇后がお産のときに貫通石を枕元に置いたところ、とても元気に生まれたこと(古事記)から、安産のお守りにされてきました。また「難関突破・初志貫徹」の意味合いから学業成就のお守りとして用いられるそうです。

◀ 大津大石トンネルの実際の貫通石